

遊文通信

vol.07

ウイルス対策は万全ですか？



ウイルス対策が一般化してきたこともあり、ウイルスが大きく騒がれることもなくなってきましたが、様々なデータが入ってくる遊文舎としてはウイルス対策は欠かせません。色々なところで書かれていることですが、会社・個人に関わらず、どうすればウイルス感染を予防できるのでしょうか。

①セキュリティソフトを導入する。

これに関しては、コンピュータを使うなら今では必須と言えるのではないのでしょうか？ 最近では、コンピュータを購入するとインストールされていることも多くなりました。しかし、「ウイルス定義ファイルが最新ではなかった」「使用期限が切れていた」など、よく聞くことですが、そうならないために、セキュリティソフトからのお知らせには注意しないといけません。しかし、ウイルスも日々進化していますので、知らぬ間に感染していることもないとは限りませんので、少なくとも月に1回は退社前・就寝前にコンピュータのフルスキャンをした方がいいでしょう。

②インストールしているソフトは最新版にする。

最近のOSやソフトは自動でアップデートのお知らせをしてくれます。アップデートは、新たに発見された不具合や脆弱性の問題を修正するものがほとんどですので、ソフトは必ず最新版にしましょう。ただ使用状況によっては、最新版にできない場合もありますが、その場合どんなリスクがあるのかを認識している必要があります。

③ソフトからのお知らせを読まずにボタンを押さない。

ソフトから何らかのメッセージが出ているのに、いきなりOKボタンをクリックする人って結構います。特にOfficeのファイルにマクロが含まれていると、「マクロを無効にする」「マクロを有効にする」メッセージが出てきます。何も考えず「マクロを有効にする」で開くと、もしかするとウイルスに感染するかもしれません。当たり前ですが、メッセージは何か知らせる必要があるから表示されます。読むのに何分もかからないので、メッセージを読んでからボタンを押すようにしましょう。

④ファイル共有ソフトは使わない。

合法的なファイルを共有するために家庭のコンピュータで使用するのは問題ないですが、これはウイルス感染だけではなく、情報漏洩の危険もあります。会社にとっては、ウイルスより情報漏洩の方が危険かもしれません。会社でファイル共有ソフトを使用するのは、メリットよりもデメリットが大きすぎるので禁止することが一番でしょう。セキュリティ会社からもファイル共有ソフトのインストールをチェックするツールも出ていますので、心配な方は使ってみてはいかがでしょうか。

今後はスマートフォンの対策も

この4つを継続できれば、コンピュータの感染リスクは大きく下がるとは思いますが、最近iPhone・Androidなどスマートフォンを持つ方が増えてきています。iPhone・Androidともコンピュータと接続して使うことが可能（前提）となっており、感染するウイルスも出てきていますが、コンピュータウイルスほど注意している方は少ないのではないのでしょうか？ これからスマートフォンが増えていけば、スマートフォン・コンピュータともに感染するウイルスも出てくるかもしれませんので、現在使っている方もこれから使おうと考えている方も注意しましょう。ちなみに遊文舎のスマートフォンユーザーは、大丈夫ですよ？

(記：源三郎)

栄光の 架け橋

第7回

第7回は株式会社世界文藝社さんにお伺いし、
大阪支店の山田裕司チーフにお話をお聞きしました。

— 世界文藝社についてお聞きしたいのですが

芸術に関する様々な展覧会を企画運営し、国内、海外で開催しています。また一般読者から美術愛好家、研究者まで幅広い層に向けた書籍、画集、無料情報誌の出版、および芸術家個々のプロモーションツール、アートグッズなどの企画からデザイン、編集、制作まで行っております。

— 最近出版された書籍にはどんなものがありますか

今回で6巻目になるのですが、女性芸術家の創作活動を集約した画集『ミネルヴァ』では遊文舎さんにお世話になりました。



色の再現性が厳しく問われる作品頁

— 遊文舎の印象はいかがですか

美術本での作品に対しての色のこだわりなど、かなり無理な要望まで対応していただいて、作家



写真では分かりにくいですが、浮き出し加工と金箔押しの凝った表紙

の方々にも満足いただいております。それ以外にコストや納期も相談にのっていただいております。助かるのはもちろんのこと一つひとつの積み重ねが信頼できる会社としてお付き合いさせていただいています。

— 最後に一言お願いします

これからもパートナー的なお付き合いでお仕事できればと思っております。

(聞き手：たかしん)



だーくんの 趣味を語れよ!

Level.7

僕、『だーくん』の趣味はゲーム。というわけで、今までに夢中になったゲームの思い出なんかをなんとはなしに書いていこうと思います。

暖かくなってきたところで、ここらでスポーツ物のゲームでも…。「燃える!!プロ野球」

当時の野球ゲームでは、画期的かつ立体的な画面が印象的なソフトですね。なんせ、左右にしか振れなかったボールが上下も操作できるようになったんですから。ホームランを打たれたあとにバックスクリーンに映し出される投手の跪く姿が、哀愁を誘ったりもします。

このソフトは、売れすぎたため、ケースの生産が追いつかなくなり、本来赤いケースに入っているのですが、代わりにゲームの黒いケースが使われたそうです。僕は、その黒ケースを見たことがないです。

伝説のバントホームランやどこに投げてもストライクなど、大いに話題を振りまいたソフトでした。



印刷こぼれ話

Part.4

営業部S君の営業中の実話を披露していただきました。

お得意先K社に行くことになり近くで駐車場を探していた。
よく使うコインパーキングが満車だったので、ちよい先の〇〇パーキングに止めることにした。
あんまり好きじゃないこの駐車場、というのはオイラの中でいいオジサンと悪いオジサンの2人がいるから。
いいオジサンとは、愛想がよくて世間話してくれる。悪いオジサンとは、愛想悪くて好感もてね〜。
いいオジサンだといいなと思いつつ止めるとその日は悪いオジサンだった！
いつも指示されて置く場所に止めてオジサンのいる料金所へ。
行くと電話中、しかも私用らしき電話。
キーを渡して駐車券をもらおうとすると受話器を持っていない方の手を振ってきた。
駐車場所が悪くて少しバックしろ、という意味かと思うとオイラが邪魔でナンバーが見えないらしい(なんやねん)。車のナンバーを控えて駐車券をもらった。
K社での打合せを終えてその駐車券をオジサンに渡すと「はい、990円」って言われた。
「え〜そんなにします?! 1時間程ですよ、さっき電話していた時ですよ。あの車ですよ」と抗議したら、理解したらしく「あ〜、打ち間違いかな〜ちょっと待ってや」そして「450円やわ」。でさっきの990円レシートを渡され、「これであかんか? 打ち直したらワシ自腹切らなあかんねん」
ウザイけどオジサンと話すのも嫌やから、もういいかと思ひ財布を見ると万札しかなく、出そうとすると「あれへんわ、さっき使ったとこやねん」
「じゃあ、崩してきますわ」と言って向かいのタバコ屋へ。自動販売機は千円オンリーなので、店内で両替を頼むと「中にも置いているから銘柄言って」と言われ「えっと

KOOLの軽いの下さい」って吸わないタバコを買っちゃいました。

いいオジサンの時は止めるけどあの駐車場はもう使わない、と決意した。

コインパーキングでも小銭がないとコンビニでジュース買ったりすることもある。

常に小銭は置いておきましょう、と再度自分に言い聞かせた。

それとさっきのレシートは帰社後、経理に言って訂正してもらいました。

その話をお得意先K社のAさんに話すとAさん「うちは月極めで借りているんや、少し置かしてもらっていいんや。今から言いに行こう」

オイラ「いや、いいですよ。わざわざ言いに行くことでも…」

Aさん「あのオッチャンは、ゲイヤねん。全然恐くないんや」

オイラ「え〜、ホンマですか?!」

と言いつつエレベーターに乗って2人で駐車場に向かって行った。

着くなりAさんは話を切り出した

「おっちゃん、この人はうちの大事なお客さんやから今後止めさせたって! エラそうに言うたらあかんや〜」

オジサン「ああ、そうかいな。知らなかったがな」

Aさん「ホンマ、頼むで〜ゲイのくせに(笑)」

オジサン「なんやと〜」と言いつつAを走って追いかけ出した。Aさんは駐車場内を逃げる、逃げる。

オイラはその姿を見てやっぱりゲイなんやと確信を持った^^

今月の一押し本



みなさんこんにちは！新旧問わず、私キパノスケのまったくの主観に基づき、お勧め本をどんどん紹介させていただきます。ご感想などお聞かせいただければ幸いです。

石田 衣良

IWPG(池袋ウエストゲートパーク) シリーズ第7弾『Gボーイズ冬戦争』 文藝春秋 ¥1,600

東京の夜の池袋を舞台にしたアウトロー物というイメージですが、都心でおこるさまざまな事件を切り口に登場人物の人生を巧みに交錯させた、秀逸の人間ドラマという評価を私はしています。シリーズは読破しました。

シリーズ初期の頃は洒落にならない少年犯罪や凶悪なストリートギャングの抗争がメインに描かれていましたが、今は街で困っている人たちの悩みを無償で解決する爽やかな不良少年の活躍がメインに描かれ、心がなごみます。

シリーズ第7弾は、池袋最強の伝説の不良少年「キング」最大の危機を、主人公でキングの親友の真島タカシの活躍で切り抜ける話をメインに4話のオムニバス構成になっています。

「キング」の座を狙う後輩の「ナイト」との抗争、少年刑務所帰りの総合格闘技の使い手オトー派の襲撃、そこに池袋のヤクザ組織と裏社会の伝説の殺し屋「影」が巧みに絡んで、最後は少年同士の友情に胸を打たれます。さらっと読める良著ですので、是非ご一読ください。(キパノスケ)



真っ盛りの
スタッフシリーズ

おのちゃんがいク!

Vol.7

伝説の営業マン おのちゃん (第1話の4)

おなじみの「おのちゃん」、伝説を生み出した彼を小説風に紹介します。
(この小説はフィクションです)

「またキャンセルとは急な話ですね、どないしはりましたん…」
坂辺は驚いた口調で虎吠に問いかけた。
何でも、多々美屋食品の毎年の恒例行事である夏の社員旅行が今年キャンセルになったとのこと。虎吠の口からはっきりした理由は語られなかったが坂辺はその内容から察しがついていた。多々美屋食品も最近では過半数が若い社員ばかりで時代の流れといえはそれまでだが会社行事への関心が希薄で参加率も減法悪く、そのような状況に社長が憤慨し、急遽キャンセルになったというところだろう…。
「で、坂辺課長さんにお願ひがありますねん…」
「何ですの、急に改まって…、虎吠さんに課長なんか呼ばれたことないですよ…」
「実はキャンセル言うても、もう料金が発生していますんや、キャンセル料言うやつや」
「それはきついですね、多々美屋さんところ社員の数も多いし、バカにならんでしょ」
坂辺は細かな質問をあえて避けた。虎吠は続けた…。
「それでや、それでやな、坂辺さん…今回急にこないなことになってもうたからもうしゃあないねんけど、少しでもキャンセル料の負担を減らさんといかんねや、これがまた…」
「でも社長ご自身がキャンセルを…」
「そやけど、キャンセル料には納得いってはれへんし…、そんなん50%やなんていうたら…。で旅行会社の方はまたそっちはそっちで言うてきよるし…」

結局虎吠の話とは翔文館印刷で今回キャンセルになった多々美屋食品のツアーの一部買い取ってこないかということだった。もちろん社

員数が圧倒的にちがうので多々美屋食品の負担が無くなるわけではないが翔文館印刷の社員の人数分だけでも、ということだった。もちろん事情が事情だけに超格安でということだ。

「いっぺんうちも社長に言うてみますわ…」
普通の業務での虎吠の無理な要求には慣れてきた坂辺だが今回のようなことは初めてで戸惑った。

帰りの車の中で小野が問いかけた。
「坂辺課長、多々美屋食品さんが言うておられる旅行とはどこのことなんですか」
「上海や、前から今年は上海や言うてはったから知ってはあったけど…、でもうちも急に言われてもなあ、まあ社長に言うてみてからやな…」

その日、小野は事務所にもどり見積書の作成の仕方や、仕事の手配の仕方などのレクチャーをうけ、定時にはタイムカードを押した。いきなり旅行ツアーを買わされてすぐに社員旅行に行くような会社があるわけない…。多々美屋食品もよくあんなこと頼みよるなあ…。小野はそんなことを考えながら駅に向かった。(つづく)

タイガース
楽しみだなあ



次回
予告

真っ盛りの
スタッフシリーズ

次回「おのちゃんがいクVOL8」は「伝説の営業マンおのちゃん 第1話の5」(予定) ※内容はやむを得ず変更になる場合がございます。ご了承ください。

遊文舎がお届けする超特急印刷サービス

最短
3時間
で印刷!

すぐスール
.com

すぐスール

検索

<http://www.yubun.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談はこちら



電話

0120-132394



E-mail

sugusu-ru@yubun.co.jp

受付時間

平日9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)

配布用のチラシとは別に告知用のポスターも欲しい!!

ポスター+キャンペーン

A4チラシ 300枚以上でポスター5枚無料!

(A2サイズ片面印刷)

- *モノクロのチラシのご注文の場合はポスターのカラー印刷はできません。
- *ポスターはA2サイズ(594x420mm)で専用紙のみになります(用紙の選択はできません)
- *チラシのデータをそのままポスターに拡大しますので、画像等が粗くなる場合がございます。
- *ポスター用に別にデータを作成されてもお届け致します。



【編】 【集】 【後】 【記】

第7号まで来ました。トップのウイルス対策のお話はいかがでしたか? パンコンのウイルスもそうですが、ウイルスを持った人にもご注意ください。そういう僕の行動がのろ(ノロ)ウイルスですって^^

(Dandy)

次回、
News Letter
Vol.7を
おたのしみに!

